

## 会 議 録

会議の名称	平成24年度第2回健康づくり推進協議会
開催日時	平成25年1月31日(木) 午後1時30分～午後2時40分
開催場所	清須市新川体育館 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 第1回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について (資料1)</li> <li>3. 清須市保健事業について (資料2-1～3)</li> <li>4. 健康日本21清須計画の推進について (資料3-1～2)</li> <li>5. その他</li> </ol>
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 第1回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について</p> <p>資料2 清須市保健事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 母子保健事業 (健康推進課)</li> <li>2-2 成人保健・健康増進保健事業 (健康推進課)</li> <li>2-3 介護予防事業 (高齢福祉課)</li> </ol> <p>資料3 健康日本21清須計画の進捗状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 健康づくりをみんなで考える会 (市民ワークショップ) について</li> <li>3-2 健康日本21清須計画に関する各課実務者会議について</li> </ol>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、深尾委員、辻委員、小川委員、丹羽委員、富成委員、近藤委員、関委員、伊藤委員、奥山委員、渡邊委員、村上委員、福島委員、藤澤委員、片岡委員 (師勝保健所)
欠席委員	無し
事務局	<p>大鐘部長</p> <p>〔健康推進課〕 田中課長、森川主幹、佐古係長、古川係長</p> <p>〔高齢福祉課〕 寺社下係長</p>
会議の経過 《要旨》	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 田中課長 開会のことば 深尾会長 あいさつ 議事進行につきまして、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。 議事に入る前に、本日の会議録署名委員に辻委員と伊藤委員を指名いたします。 事務局より説明後、委員の皆さんからご質問、ご意見を申し上げます。</li> <li>2 議題：事務局より資料に基づき説明 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について (資料1)</li> <li>(2) 清須市保健事業について (資料2-1～3)</li> <li>(3) 健康日本21清須計画の推進について (資料3-1～2)</li> </ol> <p>奥山委員：健診の項目が合併前より減っているのはなぜですか。クレアチニンは増えていますが、</p> </li> </ol>

眼底、心電図、肺活量などの検査項目がなくなり、お金を出してでも検査を受けた人が多いと思います。

事務局：以前は老人保健法の健診項目に各市町村が検査項目を上乗せして実施していました。平成20年度から保険者が実施する健診になり、メタボリックシンドロームのスクリーニングのための検査項目になり本市はクレアチニンなどを追加実施しています。

奥山委員：メタボリックシンドロームだけでなく血管年齢がわかる検査も増やしてほしいと思います。

加藤委員：健診の目的は隠れている疾病やがん等の死因となる疾病を探し出すことと、特定健診のようにリスクを知ることです。この検査項目なら受診しないという方も多いので、限られた予算の中で住民が望む検査項目を増やすことで受診率アップにつながると思います。

片岡委員：健診のターゲットが変わり、生活習慣病の検査だけでなくスクリーニング後の保健指導に焦点を絞ったものになりました。行政がどこまで個人の身体問題にかかわるのか、検査項目は明確なエビデンスベースに基づくかを検討することが肝要です。

事務局：ご意見、ご要望は関係所管課と研究してまいります。身近で市国保にご加入の未受診者がみえましたら個別にご案内した受診券を持参して早急に受診されるようお伝えください。

関委員：働き盛りの若い方が休日にも受診できるように休日診療所で特定健診を実施したらどうですか。

事務局：西部休日急病診療所は救急医療対応が主務です。土日の集団健診は例年5日間ほど実施し、個別健診で日曜診療をしている医療機関もありますので啓発に努めていきます。

丹羽委員：愛知県健康寿命は男性が全国第一位、女性が第三位と老人クラブ理事会で知事から聞きましたが清須市はどうですか。

事務局：本市健康寿命は出ていませんが県内並みと思われます。

片岡委員：一部の山間部、離島を除いて県内では地域的な健康格差はみられません。師勝保健所管内の市町においてその市町特有の健康課題は無く、県の健康寿命と同様と考えて差し支えないと思われます。

事務局：空港があった豊山町では機内食関連企業や青果市場に早朝から勤務される方の肥満やストレスが当時話題となったことがあり、生活習慣は健康、寿命と関わりがあると思います。

小川委員：75歳以上の方が人口の一割を占めるようになりましたが、後期高齢者などの資料も載せていただきたいと思います。75歳以上の方の関心が高まるような事業の実施を希望します。

福島委員：伴侶を亡くした後、女性は自由度が増して活発になり、男性は引きこもってしまいがちです。今、地域では妻に先立たれた高齢男性をどう誘い出すかが課題となっています。高齢男性が参加したくなるような働きかけができればいいと思います。

事務局：高齢男性限定のトレーニングマシンを使った運動教室を開催したところ、申込み初日に定員に達しました。高齢男性が運動や料理などを通じて地域に馴染む機会となるように啓発していきます。

奥山委員：北名古屋市は拠点となる健康ドームで毎年健康まつりを実施していますが、血管年齢測定などのイベントは清須市では実施しないのですか。

事務局：本市主催のビックイベントの中にブースをいただいてその中で参画しています。毎年、多くの方に健康に関心を持っていただく機会となるような企画を考えて実施していま

す。

藤澤委員：健康なうちから健康について考えていくことが大切です。子どもの頃から健診とま  
ではいかなくても健康を考える機会があるとよいと思います。男性も子供ができて  
父親になる時や退職した時が自分の健康に関心が高まる時期です。

辻委員：薬剤師会では学校や地域において健康日本21に関する行事を実施していますのでこ  
の場でご紹介します。来年度から高校の薬と麻薬の授業に協力いたします。

### 3 その他

事務局：本日のご意見・ご要望につきまして次回の会議でご報告申し上げます。今後よろし  
くお願いいたします。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名します。

署名委員

辻 勇 夫 ㊟

伊 藤 千 里 ㊟

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4360